



学校だより

11月号 第431号

教育目標：自分がすき 友だちがすき まちがすき 進んで学ぶ 山田の子

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamata/>

WITH コロナの学校行事

校長 金森孝子

1日目、午前、城ヶ島公園でのことです。「地球は丸いって知っていました？」周囲を180度以上見渡すことのできる高台から、遠くにある水平線を眺めて子どもがつぶやきました。「地球が丸いってということがわかりますね。」1日目、午後、三浦海岸で地引き網漁を体験したときのことです。「かもめが魚を狙っているぞ!」「お魚!お魚!」「大きなスズキ、とったぞー!」「ふぐがこんなにたくさんとれるなんて、、、」たくさん子どもたちが網にはりつきたいわしに直接接触り、網から救い出してあげています。2日目、午前、伊藤農園で農業体験をしているときのことです。「大根を引き抜いたときの感覚を味わってください。」農場の方に説明され、子どもたちはどれを引き抜いたらいいのか真剣に悩んで、慎重に大根を引き抜きます。大根の長さと同じぐらいの葉っぱがついた大根を持ちながら「どうしてスーパーの大根には葉っぱがついてないの?」思わず、疑問をつぶやいたり、「それは大根の葉っぱはすぐ傷んでしまうからだよ。」と説明を受けたり。2日目、午後、観音崎自然博物館の近くの海岸でのことです。ビーチコーミングの説明を受けて、自然のもの、人工のものなどを細かく観察しながら、子どもたちは気に入ったものを選んでいきます。貝殻やシーグラスを見つけて、大切に持ち帰る子どもの姿も見られました。

10月26日(水)27日(木)は、3年ぶりとなる5年生宿泊体験学習を実施することができました。当初の予定は、山梨県の西湖周辺でしたが、まん延防止等重点措置がとられた場合に県をまたいで移動する行事が実施できないため、神奈川県内に変更することにしました。今回、参加した子どもたちの姿から、二日間の集団としての学びはもちろん、それに至るまでの事前学習が子どもたち一人ひとりを成長させることも実感しました。11月は6年生の修学旅行があります。神奈川県内で実施できるよう、鎌倉、小田原、箱根の観光、宿泊は八景島のホテルを予定しています。5年生と同様、充実した学びを展開してくれるものと期待しています。

コロナ禍では、日々更新される最新の情報をキャッチしつつ、学校規模、学校施設の状況、子どもたちの実態など複数の要素を総合的に考えながら、もっとも効果的な計画を立てて実行することが求められています。マスクの着用、予防注射接種の是非、どこまで制限をかけるのかなど、専門家の間でも議論が分かれるところです。今後も、この状況は続くと考えられます。子どもたちの健康と命を守ることを最優先にし、ガイドラインを基準として、何を実行し何を実行しないかについて、WITH コロナの中で、保護者、地域の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。スポチャレでもたくさんの意見をいただきました。次年度の開催について、子どもの豊かな学びと安全、安心を柱にしながら引き続き検討していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

スズキと
イワシ

左上から城ヶ崎公園、三浦海岸
左下から室長会議、伊藤農園
（「鎌倉殿の13人」で有名な和田義盛の和田の地名が今も住所となっているそうです）
観音崎の砂浜